

# 『うるおいの大地』の運用状況

為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)  
追加型投信／内外／資産複合

2019年8月27日



為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)は、先進国のソブリン債(為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用))へ投資を行い安定した金利収入を確保しつつ、農業に関連する日本の株式(農業関連日本株マザーファンド)および世界の農業に関連する指数(上場投資信託証券(ETF))に投資をしています。

## 【設定来、堅調なパフォーマンス】

為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)(以下、当ファンド)の基準価額は、横這いの推移が続いた後、良好な世界経済を背景とした日本株の上昇を受けて、2017年に大きく上昇しました。足元では、米中貿易摩擦の激化などを背景とした世界景気の減速懸念から基準価額も下向きとなっていますが、設定元本(10,000円)は概ね上回って推移しており、底堅い動きを見せています。

先進国のソブリン債への投資から得られる安定した金利収入と、人口増や新興国の経済発展などによる農業関連株の上昇を背景に、当ファンドは設定来、堅調なパフォーマンスをあげています。

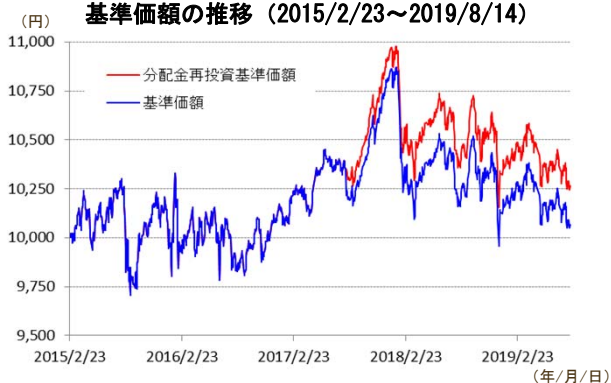
日本株に関しては、農業関連日本株マザーファンドを通じて、世界的な人口の増加を背景とした食料需要の拡大や、新興国の食生活の変化によって成長が期待される農業関連銘柄、食品関連銘柄を中心に組み入れています。同マザーファンドの基準価額騰落率が設定来+25.1%(TOPIX(東証株価指数):同期間-0.1%)となったことも、当ファンドのパフォーマンスにプラスに寄与しました(8月14日現在)。

## 【第9期決算期はソブリン債への投資が奏功】

当ファンドは、先進国のソブリン債、日本の株式、世界の農業に関連する指数(ETF)を実質的に組み入れており、複数資産に投資する分散効果が堅調なパフォーマンスに繋がっていると考えられます。

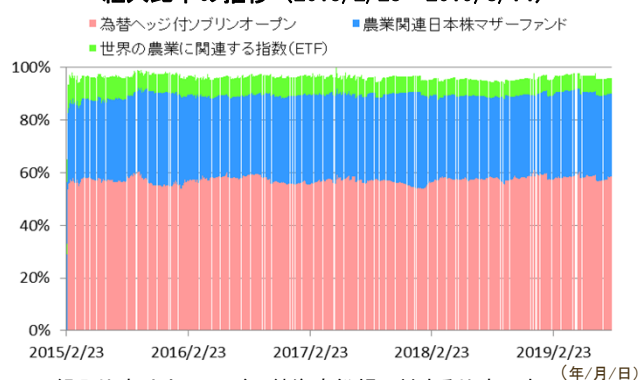
第9期決算期(2019/2/15～2019/8/14)は、世界経済の減速懸念や円高の進行などにより、日本の株式への投資にとって逆風となりました(同期間のTOPIXの騰落率:-5.7%)。一方、投資家のリスク回避の動きから先進国のソブリン債が物色される展開となり、当ファンドの投資対象である為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用)の分配金再投資基準価額は同期間に4.3%上昇しました。先進国のソブリン債への投資が、当ファンドの同基準価額の底堅さに繋がりました。

基準価額の推移(2015/2/23～2019/8/14)



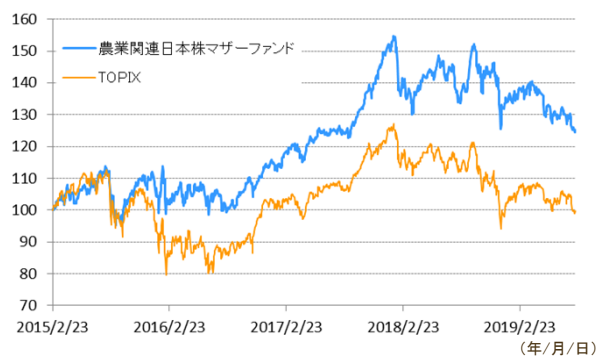
※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。  
※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。  
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆又は保証するものではありません。

組入比率の推移(2015/2/23～2019/8/14)



※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です

農業関連日本株マザーファンドのパフォーマンス(2015/2/23～2019/8/14)



※当ファンドの設定時を100として指数化しています  
(出所)Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)  
追加型投信／内外／資産複合

〔世界のソブリン債の見通し〕

米中貿易摩擦の深刻化などを背景に、世界的な景気減速に対する懸念が意識されるなか、米連邦準備制度理事会(FRB)をはじめ、世界的に中央銀行による金融緩和の動きが広がっていることから、債券利回りは低位で推移する展開が予想されます。また、多くの国で物価上昇が緩慢であることも、利回り上昇を抑制する要因になると考えられます。

今後の運用につきましては、欧州国債の組入比率を高め維持する方針です。

FTSE世界国債インデックス  
(除く日本、円ヘッジ・円ベース)



〔日本の株式の見通し〕

底打ちのタイミングを探る展開が想定されます。世界的な景気減速や日本企業の業績悪化については、概ね株価に織り込まれたと考えていますが、米国の金融緩和の効果等が見えてくるまでは、本格的な上昇には転じにくいと思われます。

今後の運用につきましては、農薬や農機といった農業関連銘柄のほか、業績拡大が期待される食料品株などへ投資する方針です。

TOPIX (東証株価指数)



〔世界の農業に関連する指数の見通し〕

足元の農産物市場は、南米の主要産地が豊作となったことに加え、春先の天候不順で不作懸念が強まっていた米国中西部でも、夏場の好天を背景に豊作見通しが台頭しており、世界的な需給緩和観測から下値模索の展開となっています。

今後の農産物市場については、下げ渋る動きを予想します。中国による米国産農産物の輸入停止が足元の相場下落の一因ですが、米国による対中制裁関税「第4弾」の発動を控え、米国産農産物の輸入再開が発動回避の切り札になると考えます。

DBIQ総合農産物指数



※上図期間: 2018/1/4~2019/8/14

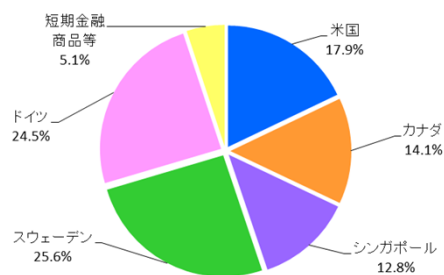
(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

農業関連日本株マザーファンドの  
組入上位 10 銘柄 (8/14現在)

	銘柄名	組入比率
1	アサヒグループホールディングス	7.0%
2	キューピー	6.4%
3	クボタ	5.7%
4	アリアケジャパン	5.4%
5	日産化学	5.4%
6	カゴメ	5.1%
7	クミアイ化学工業	5.1%
8	寿スピリッツ	5.0%
9	日本曹達	4.8%
10	エス・ディー・エス バイオテック	4.6%

※組入比率は農業関連日本株マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用)の  
発行国別構成比率 (8/14現在)



※比率は為替ヘッジ付ソブリンオープン(適格機関投資家専用)の純資産総額に対する比率です。

※比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

(作成: 運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。





為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)  
追加型投信／内外／資産複合

為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、先進国の国債や国内の株式、世界の農業に関連するETF等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、先進国の国債については、原則として為替ヘッジを行いますが、為替変動リスクを完全にヘッジすることはできません。世界の農業に関連するETFについては、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「金利変動リスク」「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。  
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが出た場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
  - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限2.16%(税抜2.0%)  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料：ありません。
  - 信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.1%

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
  - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担：純資産総額×年率0.972%(税抜0.90%)程度  
実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券（為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用））を純資産総額の60%程度組入れた場合の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。この他、上場投資信託証券の運用報酬等をご負担いただきます。
- その他費用・手数料
  - 監査費用：純資産総額×年率0.01296%(税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。なお、上場投資信託証券の費用は表示しておりません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン(愛称 うるおいの大地)  
追加型投信／内外／資産複合

**販売会社**

2019年8月27日現在

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)